

近美コレクション

2020年5月26日(火) — 6月28日(日)

わたしと絵のあいだに

【近美コレクション1階】

わたしたちは、ふだん美術館で、どのように絵を見ているのでしょうか？わたしが絵と向き合うとき、意識しているのはどんなことでしょうか？

ここではいつもの見方を少し変えて、美術館で絵を見るという行為そのものについて思いをめぐらし、絵について、ではなく、わたしと絵について考えてみましょう。

わたしと絵のあいだに、なにがあるのか、なにもないのか、あいだはどんなふうに変化するのか、じっくり探してみることにしましょう。

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	
1	野田 弘志	THE-8	2003-2007(平成15-19)年	油彩・キャンバス	寄託作品(河村泳静氏蔵)
2	能勢 真美	初秋の庭	1966(昭和41)年	油彩・キャンバス	
3	久保 守	木馬のある風景	1958(昭和33)年	油彩・キャンバス	
4	徳丸 滋	森	1982(昭和57)年	油彩・キャンバス	
5	鹿子木 孟郎	裸婦	1902(明治35)年頃	油彩・キャンバス	
6	ブリジット・ライリー	VIVA	1985年	油彩・リネン	
7	花田 和治	海 I	1990(平成2)	油彩・キャンバス	
8	小野 州一	月	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	
9	岸本 裕躬	乗客(1)	1979(昭和54)年	油彩・キャンバス	
10	俣野 第四郎	静物(2)	1924(大正13)年	油彩・キャンバス	
11	深井 克美	自画像	1970(昭和45)年	油彩・キャンバス	

ひと・ヒト・人 —あつまる人々・つらなる面々

【近美コレクション1階】

人は社会の中で生まれ育ち、社会を構成する多くの、そしてさまざまな人々と関わりながら生きています。けっして一人では生きられない。他者とともに生きる。それが人間という存在ともいえるでしょう。だからこそ、自らをとりまく人々に大きな関心を持ち、それらを表現することは、美術の大きな主題となってきました。なかでも、ひとつの画面に何人もの人々を収めて描く群像表現では、人物の配置やポーズ、喜怒哀楽の表情や情感などに、確かな構成力や描写力が示されます。そこにあつまり、居なれば、ひしめきあう人間たちの姿からは、さまざまに織りなされた人生の流転が伝わってくるかもしれません。本展ではそうした多彩なドラマを秘めた群像の数々を紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	木村 多伎子	ペナレスの地	1998(平成10)年	紙・木版・屏風(六曲一隻)
2	寺崎 広業	歳市の市	1898(明治31)年	紙本彩色・軸
3	田中 良	歳市の市(A)	1966(昭和41)年	油彩・キャンバス

4	山田 義夫	人梯	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	
5	伏木田 光夫	人間の季節―晩餐	1960―63(昭和35―38)年	中央：油彩、トノコ、コンテ、クレパス・ホード 左右：油彩、コンテ・ペニヤ、和紙	
6	田中 忠雄	アリマタヤのヨセフの行い	1959(昭和34)年	油彩・キャンバス	
7	国松 登	横切る人々	1988(昭和63)年	油彩・キャンバス	
8	菊川 多賀	森	1962(昭和37)年	紙本彩色・額	
9	岩橋 英遠	阿寒湖畔の松浦武四郎	1970(昭和45)年	紙本彩色・額	北海道蔵
10	久保 守	開拓計画を練る	1971(昭和46)年	油彩・キャンバス	北海道蔵
11	片岡 球子	函館街頭風景	1971(昭和46)年	紙本彩色・額	北海道蔵
12	月岡 栄貴	和楽	1957(昭和32)年	紙本彩色・額	
13	熊谷 明宏	トリオ・サウンズ	1968(昭和43)年	油彩・キャンバス	
14	郭 徳俊	無意味972	1997(平成9)年	アクリル絵具・キャンバス、雑誌	
15	ダナ・ザーメチニーコヴァ	私の家族	1997(平成9)年	板ガラス・着色、ミクスドメディア	
16	米谷 雄平	あなたはだれですか又は複眼の旅	1966(昭和41)年	サインペン・紙	
17	桂川 寛	螺旋階段B	2003(平成15)年	水彩、グアッシュ、パステル・紙	
18	後藤 良二	空間の格子	1981(昭和56)年	鉄、FRP	
19	山内 壮夫	子を守る母たち	1953(昭和28)年	石膏	

なんちゃってカエル名画展

【近美コレクション2階】

～ふりかえる、よみがえる。キンビで見た、あの展覧会!? あの作品!? いつだってキミは井の中、いや、絵の中にいた!!

札幌生まれの女性アーティスト・福士ユキコが手がける、「なんちゃってカエル名画」。それは、北海道立近代美術館（キンビ）で開催される特別展やコレクション展に合わせ、随時発表されてきました。古今東西、さまざまな名画のなかに、あたかも初めからそこに存在していたかのように、描かれるカエルたち。ある時は肖像画のモデル、またある時は別の生命体、またまたある時は美白、いや、美緑の両生類として、カエルのまま（ありのまま）に振る舞っています。その姿は、時としてシリアス、時としてユーモラス、ごくたまに脱力するほどユルユルで、オリジナルの名画を知っている鑑賞者のなかには（決して鑑賞疲れではなく）膝がガクンと折れるほど衝撃を与えられることも、あるとかなないとか。そんな「なんちゃってカエル名画」創作の軌跡を、2009年（平成21年度）～2019年（令和元年度）にわたるキンビの展覧会の歩みとともに振りかえる本展は、キンビ史上初、カエル史上初の試みと言っても過言ではありません。どうぞ、心ゆくまでお楽しみください。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	
1	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《セザンヌ〈カード遊びをする人々へのオマージュ〉》	2009(平成21)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
2	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《セザンヌ〈青い衣装のセザンヌ夫人〉》	2009(平成21)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
3	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《スーチン〈祈る男〉》	2009(平成21)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
4	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《佐伯祐三〈郵便配達夫〉》	2009(平成21)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
5	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《庭園の風景〈東壁〉》	2010(平成22)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
6	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《庭園の風景〈南壁〉》	2010(平成22)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
7	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《古代ローマ ラレス神》	2010(平成22)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵

8	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《バスキン〈花束をもつ少女〉》	2010(平成22)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
9	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《バスキン〈二人のモデル〉》	2013(平成25)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
10	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《松鶴図〈対面所下段〉》	2010(平成22)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
11	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《歌川国貞〈江戸名所百人美女 人形町〉》	2011(平成23)年	アクリル・木パネル	作家蔵
12	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《喜多川歌麿〈婦女人相十品 文読む女〉》	2011(平成23)年	アクリル・木パネル	作家蔵
13	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《喜多川歌麿〈婦人相学十赫 面白キ相〉》	2011(平成23)年	アクリル・木パネル	作家蔵
14	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ガレ〈ヒキガエルとトンボを描いた花器〉》	2011(平成23)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
15	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《関根正二〈信仰の悲しみ〉》	2012(平成24)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
16	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《モディリアーニ〈ジャンヌ・エビュテルヌの肖像〉》	2012(平成24)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
17	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ミュシャ〈四芸術・詩〉》	2014(平成26)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
18	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ミュシャ〈1918-1928 チェコスロヴァキア共和国独立10周年記念〉》	2014(平成26)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
19	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《国宝〈源氏物語絵巻 東屋(一)〉》	2014(平成26)年	アクリル・キャンバス	作家蔵
20	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《国宝〈源氏物語絵巻 竹河(二)〉》	2014(平成26)年	アクリル・キャンバス	作家蔵
21	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ルノワール〈ド・ガレア夫人の肖像〉》	2015(平成27)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
22	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《モネ〈睡蓮のある池〉》	2015(平成27)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
23	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《岸田劉生〈童女舞姿〉》	2017(平成29)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
24	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《作者不詳〈レオナルド・ダ・ヴィンチに基づく〉 《タヴォラ・ドーリア》《アンギアーリの戦い》の 軍旗争奪場面》	2017(平成29)年	油彩・アクリル・木パネル	作家蔵
25	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《クリストファノ・デッラルティッシモ〈ニッコロ ピッチニーノの肖像〉》	2017(平成29)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
26	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ゴッホ〈花魁〈溪斎英泉による〉〉》	2017(平成29)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
27	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ゴッホ〈アルルの女〈ジヌー夫人〉〉》	2017(平成29)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
28	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ゴッホ〈男の肖像〉》	2017(平成29)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
29	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《青木繁〈海の幸〉》	2018(平成30)年	油彩・アクリル・キャンバス・板	作家蔵
30	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《セザンヌ〈帽子をかぶった自画像〉》	2018(平成30)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
31	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《ルノワール〈すわるジオルジェット・シャルパン ティエ嬢〉》	2018(平成30)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
32	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《鈴木其一〈雷神図襖〉》	2018(平成30)年	アクリル・木パネル	作家蔵
33	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《鈴木其一〈風神図襖〉》	2018(平成30)年	アクリル・木パネル	作家蔵
34	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《伊藤若冲〈象図〉》	2018(平成30)年	アクリル・木パネル	作家蔵
35	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《カラヴァッジョ〈瞑想するアッジジの聖フラン チェスコ〉》	2019(令和1)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵
36	福士 ユキコ	なんちゃってカエル名画 《カラヴァッジョ〈病めるバッカス〉》	2019(令和1)年	油彩・アクリル・キャンバス	作家蔵

新収蔵品展

【近美コレクション2階】

2019年度に新たに収蔵した作品をご紹介します。
このたびは総点77点の寄贈があり、収蔵作品数は5,393点となりました。そのうち、本展では、北海道ゆかりの作家の作品を中心に20点を紹介します。
蠣崎波響の作品3点は前年度開催した「風雅の人 蠣崎波響展」への出品を機に、また深井克美、その師である西八郎の作品は、一昨年度、「深井克美」展の開催がきっかけとなって当館に収蔵されたものです。ほか、北海道の油彩画の先駆けとなった林竹治郎をはじめ、佐藤九二男、花田和治の油彩画、下沢敏也の陶芸、米原眞司のガラス作品を展示します。
なお、ここで展示される以外の作品については、詩人で児童文学者の友田多喜雄氏より寄贈された版画は7月4日～11月8日の期間に、北海道出身で現代日本を代表する版画家・池田良二の作品は、2月27日～3月31日の期間、既収蔵の作品とあわせて、個展形式で紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	佐藤 九二男	雪庭		油彩・キャンパス
2	蠣崎 波響	花鳥図		絹本着色・軸
3	蠣崎 波響	鶴図		絹本着色・軸
4	蠣崎 波響	富嶽江春寒之図	1826(文政9)年	絹本着色・軸
5	深井 克美	目覚	1974(昭和49)年	油彩・キャンパス
6	深井 克美	塩	1976(昭和51)年	油彩・キャンパス
7	西 八郎	人形	1972(昭和47)年	油彩・キャンパス
8	西 八郎	声	1973(昭和48)年	油彩・キャンパス
9	西 八郎	森	1977(昭和52)年	油彩・キャンパス
10	花田 和治	山と水	1989(平成1)年	油彩・キャンパス
11	米原 眞司	吉兆 その2	2002(平成14)年	ガラス(被せガラス、宙吹き、ピックアップ、サンドブラスト)年
12	下沢 敏也	Re-birth 痕跡	2016(平成28)年	陶土、顔料、酸化錳物、アクリル、ボード
13	林 竹治郎	校庭	1916(大正5)年	油彩・キャンパス
14	林 竹治郎	夜店	1927(昭和2)年	油彩・キャンパス
15	林 竹治郎	豊平館	1939(昭和14)年	水彩・紙
16	林 竹治郎	北海道当別	1939(昭和14)年	水彩・紙
17	林 竹治郎	高隈山	1939(昭和14)年	水彩・紙
18	林 竹治郎	沖縄壺屋	1940(昭和15)年	水彩・紙
19	林 竹治郎	敬愛園官舎の庭	1940(昭和15)年	水彩・紙
20	林 竹治郎	(鹿児島にて スケッチをする男性)		水彩・紙

この1点を見てほしい。

【近美コレクション2階】

美術館の様々な活動の基礎となるのは、美術や美術館に関する調査・研究です。とりわけコレクションを対象とした調査や研究活動は、美術館の最も重要な役割のひとつであり、また、実物を所蔵しているからこそ可能となる活用の領域でもあると言えるでしょう。「この1点を見てほしい。」は、当館コレクションから学芸員が1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力を紹介するコーナーです。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	ウィリアム・ホガース	侵略(フランス)	1756年	エッチング、エングレーヴィング・紙

